



東京都指定無形民俗文化財

えどだいかぐら まるいちせんおうしゃちゅう 江戸太神楽 丸一仙翁社中

江戸太神楽の歴史

太神楽の起源は平安時代までさかのぼり、神社に伝わる「散楽」という芸能がその源といわれています。太神楽が人々の人気を集めたのは江戸時代になってからでした。そのころは伊勢神宮が大変信仰を集めており、一生に一度、直接足をはこんでお参りする「お伊勢参り」が庶民の強い願望、流行となりました。そこで伊勢神宮、また同じように信仰を集めていた熱田神宮の神官の子弟が獅子頭を持って各地に出張し、御札を配って廻りました。神様の代わり、直接参拝する代わり、ということでしょうか、当時は「代神楽」と呼ばれていました。「丸一」は江戸時代から続く、太神楽を代表する屋号の一つです。丸一に伝わる太神楽は熱田派に属します。熱田派の太神楽は、寛文4年（1664）に熱田神宮の許可を得て江戸へ赴き「悪魔祓い」と称して大小の屋敷を軒別に歩いてまわり、同年3月に帰国しました。寛文9年（1669）に江戸城吹上の庭で将軍家の上覧に供し、それから江戸へ出て行くことが恒例となり、やがて移り住むようになりました。現在は、各種イベント、パーティー、舞台、海外公演など多種多様な場所で活躍しています。また、お正月には日本橋界隈を中心に昔ながらの町内廻りもおこなっています。

太神楽は獅子舞と曲芸を中心とした純国産エンターテイメントです！

おめでたい獅子舞と、お馴染み、傘の上で色々な品物を廻す曲芸、数個の鞠や撥、輪などを放る曲芸、お茶碗やグラスをのせた道具を体の色々なところに立てる曲芸など、ドキドキ・ハラハラ、小さなお子様からお年寄りまで年齢を問わずどなたにも楽しんでいただけるパフォーマンスです。大小イベント、企業パーティー、結婚披露宴、各種福祉施設、学校など、公演場所は屋内・屋外を問いません。また、豊富な海外公演の実績に基づいた外国語での演技も可能です。私どもは世界中何処へでもお伺いいたします！

近年の活動

舞台・イベント・テーマパーク等：

国立演芸場 横浜にぎわい座 両国寄席 野毛大道芸 大須大道町人祭
ヨコハマ大道芸 東京都民俗芸能大会 伝統大道芸名人会 愛知万博
各種ホテル宴会場、披露宴会場、学校、保育園、幼稚園、福祉施設 他

テレビ・映画出演：

NHK 教育「新春絵舞台」 NHK 衛星第二「衛星演芸特選」「BS 出前寄席」
NHK 連続テレビ小説「すずらん」正月時代劇「四千万歩の男」
日本テレビ「笑点」 テレビ東京「レディーズ4」
読売テレビ「平成紅梅亭」「土曜ドカンッ!!」
朝日放送「なんやモー目茶苦茶屋」 BS フジ「大使館の食卓」
キッズステーション「ピバ！アミーゴ」 北海道テレビ「ハナタレナックス」
映画「雨あがる」 他



海外公演：

アイルランド イギリス スペイン フランス ドイツ スイス オーストリア オランダ ベルギー イタリア
スロベニア クロアチア ポーランド アラブ首長国連邦 香港 韓国 台湾 シンガポール マレーシア タイ
ラオス ニュージーランド アメリカ カナダ メキシコ トリニダード・トバゴ チリ コロンビア エクアドル
ブラジル ほか